



横浜スタジアムで行われた
開会式 7月18日

連覇 戸塚アイアンボンドス



馬場大会会長が優勝旗を贈呈

神奈川県内の54チームが熱戦を繰り広げた「2026専修大学カップ神奈川県学童軟式野球選手権大会」(神奈川県野球連盟共催)の第20回記念大会。決勝戦は8月7日、

地域とともに 社会貢献活動

54チームが熱戦繰り広げる

2026専修大学カップ 第20回記念大会

準優勝 サンダースJBC



大和スタジアムで行われた。戸塚アイアンボンドス(横浜戸塚区)が12-7でサンダースJBC(相模原市)に



開・閉会式司会の
マサキさん(平16商)

勝利し、大会史上2チーム目となる連覇を達成した。閉会式で大会会長の馬場杉夫学長は「勝利の喜びも敗戦の悔しさも、これからの成長の糧にしてほしい。この暑い夏の経験が、将来につながる貴重な財産となることを願っている」と述べ、記念大会を締めくくった。

優勝した戸塚アイアンボンドスが17日、tvk(テレビ神奈川)の情報番組「猫のひたいほどワイドNEO」に出演したほか、大会の様相をまとめた総集編が23日に同局で放送された。

図書情報を入力する高校生



参加者からは「普段目にするこのない図書館の裏側や司書の仕事を知ることができた」といった感想が寄せられた。

高大連携協定校および教育交流提携校の高校生を対象とした「司書インターンシップ」が7月29日と31日の2日間、生田キャンパスの図書館本館で実施された。生徒たちは、職員から

高校生が司書体験

大学図書館の役割や本書図書館の特色、司書の業務について説明を受けた後、館内を見学。就業体験では、受入、整理、利用サービスの3班に分かれ、カウンターでの貸出や図書情報の入力などに

相撲部と多摩桜の丘学園が交流



生徒と部員の取組

本学相撲部と多摩桜の丘学園(東京都多摩市)は2019年から交流を続けている。今年も6月26日に、多摩桜の丘学園の知的障害教育部門中学部の3年生25人が、校外学習の一環として相撲部の稽古を見学し、部員との取組を体験した。相撲部からは蒲田勝太監督と部員5人が参加。礼に始まり礼に終わる土俵での作法を教えたり、生徒と一緒に四股を踏んだり、相撲の精神と技術を伝えた。

劇団SETでワークショップ 丸山教授が日本語のしくみ解説



SETの劇団員らを前に講演する丸山教授

国際コミュニケーション学部日本語学科の丸山岳彦教授が6月19日、劇団スーパード・エキセントリック・シアター(SET)で、ワークショップ「日本語のしくみ」を開

催した。SETは、日本を代表する劇団の一つ。日本語学科の協力講座「日本語表現論2」では、SETの舞台俳優を講師に招き、五感や感情を日本語

でどのように表現するかについて、演劇の方法論という観点から学んでいる。今回は、普段の授業とは逆に、丸山教授が劇団SET側に日本語学の基礎を学んでもらおうと企画。劇団員やスタッフ、演劇を学ぶ養成所生ら48人が参加した。

丸山教授は、言語学の研究領域のほか役割語やキャラ語フィラーなど、日本語の話し言葉に関する多様な切り口から、日本語のしくみをレクチャーした。参加者からは、「今回学んだ『言語を客観的に捉える』という視点を大切に、より豊かで自然なセリフ回しに生かしていきたい」などの声

留学プログラム参加学生

本学にはさまざまな留学プログラムがある。8、9月には中期、セメスター交換、長期交換の3プログラムに参加する学生が出発した。留学生は次の通り(敬称略)。

26年度中期留学プログラム(後期)

- ワイカト大学(ニュージーランド、8~11月) 古川紗羽(経済3) 関戸大輝(法3) 小糸晴美(文3)
- ネブラスカ大学リンカーン校(米国、8~12月) 松本一花(文3)



中期留学プログラム(後期)参加者

- 檀国大学(韓国、8~12月) 小長光陽(経済2) 田中穂美(経営3) 半田さくら(商4)

26年度セメスター交換留学プログラム

- オレゴン大学(米国、9~12月) 大山拓夢(経済3) 山本直哉(文3)

26年度長期交換留学プログラム(第2期)

- オレゴン大学(米国、9月~27年3月) 時水秀(経済2)
- サスケハナ大学(米国、8月~27年5月) 西野希(法3)



セメスター交換留学と長期交換留学(第2期)の参加者